

会 議 名	令和３年度第１回 木更津市駐屯地に関する協議会区長部会		
開 催 日	令和３年７月２１日（水）	場 所	岩根西公民館 集会室
時 間	午後６時００分～午後６時５５分まで		
出 席 者	山口委員（木更津市企画部長・部会長）、遠山委員（新宿区長）、小原委員（吾妻区長）、小沼委員（中里１丁目区長）、友野委員（中里２丁目区長）、新堀委員（江川区長）、江尻委員（久津間区長）、石井委員（久津間住宅区長）進藤委員（畔戸区長）、藤田１等陸佐（陸上自衛隊第一ヘリコプター団副団長）、裏出２等陸佐（陸上自衛隊第一ヘリコプター団第三科長）		
議 題	木更津駐屯地に配備されている航空機の運用に関する懸念事項等について（公開）		
そ の 他	なし		
配 付 資 料	01 会議次第 02 委員名簿及び出席者名簿 03 【資料１】木更津駐屯地に関する協議会の概要 04 【資料２】木更津駐屯地における陸自オスプレイの暫定配備について		
概 要	議題(1) 木更津駐屯地に配備されている航空機の運用に関する懸念事項等について 【説 明】 ●曾田木更津市企画課長説明 説明資料２に基づいて説明 【主な質疑応答・意見等】 遠山委員）オスプレイの運用ではないが、７月１０日に反対運動をやっている団体があった。デモをされると新宿区は非常に迷惑している。交通規制されるため、塾等に通っている子供たちが帰れない、親が迎えに行けないという問題がある。こういった問題を踏まえて、一昨年、デモの参加者に、デモを実施して交通規制がされ、子供たちが家に帰れなくなったせいで事件や事故に巻き込まれた場合、どう責任を取るのかと質問したことがある。デモの参加者はその場では答えることは出来なかったため、会議でそのことを諮ってから回答するとのことであった。後日あった回答は、祭礼の際にも交通規制があるため、同様に考えてほしいというものだったが、おかしいのではないかと思った。デモ関係者がやっていることは政治的イデオロギーが絡んでいることであろうと。それを地区の祭礼と同一基準で考えるのはおかしいと伝えたら、神社の祭礼も神社のイデオロギーに基づいているから、デモと変わらないという回答だった。デモをやっても構わないが、他人に迷惑をかけてまでやっていいことなのか疑念に思っている。 小原委員）オスプレイの件について、区民や地区の役員から具体的な懸念事項や要望はなかった。夜間飛行がうるさいという意見はあったが、そのほかは特になかった。総会を開いてその際に意見を聞ければよかったが、コロナ渦ということもあり、去年も今年も総会が書面決議だった。決議書に自由意見として余白を設けて回覧し、５００弱の決議書をもらったが、特にオスプレイに触れた意見はなかった。 山口部会長）夜間飛行の話があったが、４月に行われた夜間飛行のことだと思う。その時は近隣住民の方から騒音の件で市にも連絡はいただいております、木更津駐屯地にもその旨伝えている。今後の対応について、改めて駐屯地から説明をしていただきたい。 裏出第三科長）夜間飛行に関して、天候等の状況にもよるが、オスプレイに限らず、操縦士の能力をあげるためにも日々、訓練が必要だと考えており、パイロットを養成する上で必要不可欠だと考えている。一方で、地域の方々への配慮ということで、迷惑にならないように努めて海側でホバリングをすることか、街の上空を飛ばないようにするといった配慮をしている。騒音苦情等で、駐屯地に連絡があった場合には訓練部隊に連絡を入れて、そこの上空を避けて飛ぶといった対応を従来からしている。		

	山口部会長) 格納庫前でエンジンを始動してから、車でいう暖機運転の時間がうるさかったという話もきている。 裏出第三科長) エンジンをかける場所については、格納庫前のエプロンという所で実施している。エンジンの不具合が生じて燃えてしまった場合を想定して、安全上、消防車を近くに待機させたりしているため、エプロンでエンジンをかけなくてはならない。エンジンの始動時間については、機種によっても異なるが、10分で終わる航空機もあれば30分以上かかる航空機もある。エンジンも日によってはかかりづらい日もあるため、一定で何分かかるといえるのはないが、騒音を出さないように配慮していると認識している。 山口部会長) 天候や風向き等によって位置を変えるということか。 裏出第三科長) 市街地の周辺を避けた位置でエンジンをかけるなどの配慮をしていると認識している。 小沼委員) 騒音の測定について、日中夜間問わず、騒音測定が実施されているかと思うが、飛び立つときは一番大きい音がする。50m、100m上空といった測定は行っているのか。 曾田企画課長) 毎年、年に1回、11月半ばに1週間かけて騒音値を測定している。環境基準では57デシベル以上が騒音ということになるが、平成30年が44.3、令和元年が42.7、令和2年が48.9と環境基準は下回っている状況である。 山口部会長) 測定地点としては旧久津間漁業協同組合である。 友野委員) 私が想像していたよりオスプレイは静かである。家で音を聞いてオスプレイだと思って外に出ると見えない。CH47の方が飛んでいる回数が多いからかもしれないが、そっちの方が音は大きい。今はオスプレイ2機が飛んでいるということだが、今後、17機になったらどんなものになるか。関係ないかもしれないが、オスプレイが格納庫から常に1機だけ出ている。全部収納できないのか。 裏出第三科長) 2点質問があったと認識している。1点目は、現状ではCH47の方がオスプレイより音が大きいのではないかと。ということと、機体が増えていった場合、オスプレイの方が、音が大きくなるのではないかとということ。2点目は、格納庫に入らないオスプレイがあるのではないかとということ。まず、CH47より音が小さいのではないかとすることは、個人的には音の種類が違うと思っており、オスプレイの音の方が高いと感じている。 友野委員) 音は全然違うが、そんなにうるさいと感じることはない。それと、ホバリングするのに海面の上でできないのか。 裏出第三科長) 飛行場がホバリングできる構造となっているため、そこで訓練をしており、海面では訓練をすることはできない。そういった訓練を行う場合には了解を得て訓練を行う必要があり、通常では訓練はできない。先ほどの2点目の質問の陸自オスプレイが格納庫から出ているということだが、恐らく陸自オスプレイではないと思われる。陸自オスプレイについては、訓練等で使用した場合、速やかに格納庫に格納している。憶測だが、米軍のオスプレイではないかと思われる。現段階では、陸自オスプレイは全て格納庫に格納できる状態である。 新堀委員) 格納庫を海側の方に建てる予定だと思うが、完成時期はいつになるか。 曾田企画課長) 昨年、地質調査を終え、今年度から設計に入り、近々、米海兵隊のために格納庫が2棟整備されると伺っている。 新堀委員) 訓練の新たな飛来先について、もう1度説明していただきたい。 曾田企画課長) 資料2の3『陸自オスプレイの運用について』をご覧ください。北関東防衛局からは当面の間、千葉県内では館山基地、県外では茨城県百里基地、静岡県東富士演習場へ飛行し、順次飛行先を拡大していくと説明を受けている。 新堀委員) 射撃訓練はどこで行うのか。 曾田企画課長) 北関東防衛局からは、機銃を使用した訓練は演習場で行い、木更津駐屯地では行わないと説明を受けている。
--	---

	山口部会長) 補足すると、機銃は護身用に装備するものであり、攻撃用ではないと説明を受けている。 新堀委員) 今後とも新しい情報があれば流してもらいたい。 江尻委員) 特に地区のほうから苦情は入っていない。オスプレイについては、離着陸訓練を行う際に、市民が安全で安心となる訓練を実施していただきたい。 山口部会長) 安全面についての情報は地域の方にお知らせをすることが大事と考えているため、普段からホームページ、報道機関等にご協力いただき情報提供させていただいているが、オスプレイの安全性について、駐屯地の方がどのように考えているか教えていただきたい。 藤田副団長) 1機ずつ受入点検というものを実施しており、整備員が部品を一つ一つ点検した後に、整備確認飛行を操縦士が行っている。操縦士からも安全性については問題ないと聞いているため、機体は安全だと思っている。 山口部会長) 資料2に記載されている、潤滑油の汚濁が原因で警告表示が出たのは、オスプレイに搭載されているシステムが高度なシステムが搭載されていることによるという認識でいいか。 藤田副団長) その通りである。一番問題なのは、警告表示が出ないまま飛行して大きな事故に繋がることである。我々としては、安全機能が正常に機能しているという判断である。 石井委員) 暫定配備が開始されてから前よりもうるさいかなと思っていたが、騒音についてはあまり気にならない。地域の住民の意見を聞いたが、国の利益を守るために最善の方法だと認識している。私自身は反対しても仕方ないと思っている。安全性については注意を払っていただいていることは承知しており、命をかけてやっていただいていることなので、それには感謝している。国の姿勢として、なにかあった時に国民に隠すのではなく、国民が納得できるような対応をしていただきたい。また、航空機の音がうるさいという苦情があった場合、その情報を市と木更津駐屯地で共有すべきであると考えているがどうか。 曾田企画課長) 従来はそういった情報共有が不足していたかも知れないが、6月に市職員が駐屯地を訪問し、今後は航空機運用に関する苦情を情報共有できる体制を整えていくということで意見が一致したところである。 進藤委員) 畔戸は、防音工事が一番困っていることである。防音工事の補助が外れている世帯があるため、市から防衛省に働きかけていただきたい。国の防衛施策に協力する代わりに、防音工事の補助の対象世帯の見直しをしていただきたい。 曾田企画課長) 第1種防音区域の対象外となった区域における防音対策については、木更津駐屯地周辺地域等振興交付金を活用いただければと考えている。 遠山委員) 先ほどの騒音調査の件で、11月に1週間ほど行っているとのことだったが、近隣住民は寒くて窓を閉めていると思うので、夏の窓を開けている時期にやってもらったほうがいいと思うがどうか。 曾田企画課長) 経年比較をするために騒音測定の時期を固定していると思う。市では木更津駐屯地の騒音測定を防衛省に実施して欲しい旨の要望書を提出しているところであり、これが実現されるものであれば、実施の時期についても検討していきたい。 友野委員) 窓を開けていると、振動でサッシが揺れている。 遠山委員) こういった声もあるため、騒音測定の時期は検討していただければと思う。 山口部会長) 駐屯地から具体的な安全対策について、説明をしていただきたい。オスプレイの安全性への懸念というものがある中で、現時点でどのような安全対策をされているのか。 藤田副団長) 先ほど説明したとおりだが、受入点検をして、飛行前・飛行後の点検を実施している。また、最初は実機で訓練するわけではなく、シミュレーター等で教官が教えており、そこで安全を確認した上で実機へ移行となる。 山口部会長) 陸自オスプレイの暫定配備前に開催された住民説明会の際に、ヒューマンエラーについての意見もあったが、現在はどのように対策をしているのか。 藤田副団長) ヒューマンエラーは起こりうるものであると考えている。オスプレイに搭載されているシステムは、仮にパイロットが誤った入力をした場合、航空機が誤った入力であると認識し、正しい入力がかかるようになっており、ヒューマンエラーが起きないようにしている。
--	--

	遠山委員) 航空機専門雑誌にオスプレイの安全性について書かれているものもあるため、今後、駐屯地から安全性を説明する際には、専門家はこういう観点から安全という風に解説しているといった第三者の意見も交えながら説明するといいいのではないかと思います。 藤田副団長) 陸上自衛隊木更津駐屯地は、地元の皆様の理解あつてのことだと思っている。引き続き、ご理解いただきたい。 【その他】 無し
--	--